第４４回日刊アマダブルス関東ダブルスゴルフ選手権【山梨予選】

開　催　日：２０２６年１１月１７日（火）　　開催コース：鳴沢ゴルフ倶楽部

本競技は、フォアボール・ストロークプレーで行われ、日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。
本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規則やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。
ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「一般の罰（２罰打)」となる。

ロ ー カ ル ル ー ル

1. アウト・オブ・バウンズ（規則18．2）
   アウトオブバウンズは白杭のコース側の地表レベルで結んだ線によって定められる。
2. ペナルティーエリア（規則17）
   イエローペナルティーエリアは黄杭、レッドペナルティーエリアとし赤杭をもってその限界を標示する。
   その境界は水面が岸に接する線とする。但し、5番のグリーン右側の河川は赤杭にて表示する。
3. 異常なコース状態（動かせない障害物を含む）（規則16）
   (a) 修理地
   青杭または、白線で囲まれた区域。
   (b) 動かせない障害物
   （1）排水溝
   （2）複数の動かせない障害物が接している場合、それらはひとつの動かせない障害物として扱われる。
   （3）動かせない障害物と白線でつながれている区域は、その動かせない障害物の一部として扱われる。
   （4）場内道路（舗装路およびカート道路を含む）、轍跡、垣根（生垣は除く）。
4. 使用クラブの限定
   グリーン上および、そのカラーに球が止まったとき、または、スタンスがかかる場合は、パター以外のクラブの使用を禁ずる。
   パター以外のクラブを選択の場合は、罰なしにその球を拾い上げ、前位置に出来るだけ近く、ホールに近づかない箇所（ニヤレスト・ポイント）から1クラブレングス以内にドロップしなければならない。
5. 不可分な物
   以下の物は不可分な物であり、無罰の救済は認められない。
   (a) 樹木やその他の恒久的な物件に巻きつけたり、密着させてあるもの。
   (b) ペナルティーエリア内にある人工の壁や杭でできた構造物。
6. クラブと球の規格
   (a)ストロークを行うために使うドライバーはR＆Aが発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッド（モデルとロフトで識別される）を持つものでなければならない。
   (b)ストロークを行うときに使用する球はR＆Aが発行する最新の適合球リストに掲載されていなければならない。
   このローカルルールの違反に対する罰：失格
7. プレーの中断と再開（規則5．7）
   (a)即時中断（落雷等、切迫した危険がある場合）
   委員会がプレーの即時中断を宣言した場合、すべてのプレーヤーは直ちにプレーを止めなければならず、委員会がプレーを再開するまでは、別のストロークを行ってはならない。
   このローカルルールの違反に対する罰：失格
   即時中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、失格とすることもある。

（b）通常の中断（日没やコースがプレー不能）
規則5．7b、c、dに従って処置すること。
（c）プレーの中断と再開の合図
即時中断：通常の中断：プレーの再開：
上記、すべて大会事務局もしくは、サイレンを通じてプレーヤーに連絡する。

8．練習
ホールとホールの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。
終了したばかりのグリーンやその近くで練習ストロークを行う、または、終了したばかりのグリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってグリーン面をテストする。

9．キャディー
プレーヤーはラウンド中に委員会によって指定された者以外をキャディーとして使ってはならない。
このローカルルールの違反に対する罰：違反があった各ホールに対して一般の罰を受ける。違反がホールとホールの間で起きたり、ホールとホールの間まで続く場合、プレーヤーは次のホールで一般の罰を受ける。

競　技　の　条　件

1．参加資格
プレーヤーは「競技規定」で定められる参加資格を満たしていなければならない。

2．スコアカードの提出
スコアリングエリア方式を採用する（プレーヤーの両足がエリアから出た時点をもって提出されたものとみなす）。

3．競技終了時点
競技委員が定めた、成績掲示をもって終了したものとみなす。

注　意　事　項

1．プレーヤーにエチケット違反、または非行があった場合は「行動規範」に基づいて制裁を受けることがある。また重大な非行があった場合には規則1．2aおよび20．2に基づいて失格とする場合がある。
2．ラウンド中、コース内での携帯電話などの通信機器の使用を緊急時以外、禁止とする。
3．悪天候等により、委員会が競技を途中で中止を決定した場合、9ホール終了時点で競技を成立させることがある。
4．スタート時間の 30 分前には受付を済まし、10 分前には必ずスタートホール付近にて待機すること。
5．指定練習グリーンではパッティングのみとし危険防止のためアプローチ練習は禁止する。
6．9ホール終了後の練習は指定練習グリーンでのパッティング練習のみとし、アプローチ練習及び打ち放し練習場での練習は禁止する。またスタート前の練習場は、1 コインまでとする。
7．プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当に開けないように注意のこと。プレーの不当な遅延にはペナルティを課す場合がある。
8．ギャラリーは、コース内に立ち入る事を禁止する。
9．ティー・マークは、開催コース指定のティーを使用する。
10．予選通過後のメンバー変更は一切認めない。
11．予選通過は、上位 4 チームとする。
12．通過者にタイが生じた場合、マッチングスコアカード方式により通過者を決定する。
＊　マッチングスコアカード方式は①→②→③→④→⑤→⑥→⑦の順にスコアを比較し順位決定
①10番から18番ホールの合計スコア
②13番から18番ホールの合計スコア
③16番から18番ホールの合計スコア
④18番ホールのスコア
⑤4番から9番ホールの合計スコア
⑥7番から9番ホールの合計スコア
⑦9番ホールのスコア

～日刊スポーツホールディングス、競技委員会～